

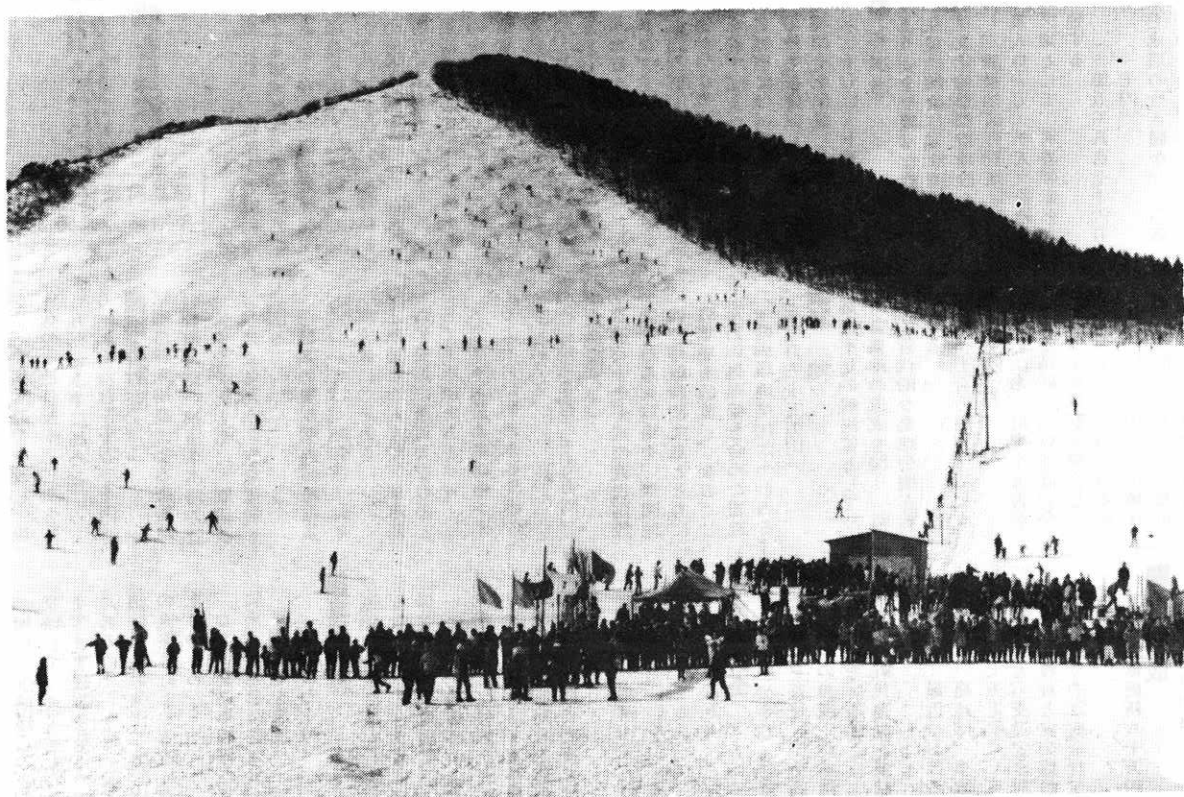
広報



たかのす

第3種郵便物認可 昭和44年5月14日

- 発行所 秋田県北秋田郡鷹巣町役場
☎(01866) 2-1111
- 編集 総務課秘書係
- 発行部数 6,450部
- 毎月1日・15日発行
- 頒価10円 ●郵便番号018-33
- 印刷所 (株)秋北新聞社



連日スキーヤーで賑わう 町営・薬師山スキー場

ことしは降雪も多からず、少なからず、しかも好天気恵まれ、スキーヤーにとってはこのうえないスキー日和が続いています。

札幌国際冬季スポーツ大会、田沢湖国体（2月19日～23日）などの盛り上がりで、スキーに対する熱も上昇。

町内でも各小、中学校、学校対抗、町民スキー大会、職場大会などが、それぞれアイデアに富んだプログラムで行なわれています。

町営薬師山スキー場も国道7号線から数分という交通便利のよさによって、町内外からスキーを楽しむ人たちで利用度100パーセントといったところ。

2、3月は大いにスキーを楽しみたいところ。

写真＝町民スキー大会

No.211

46

2/15

昭和46年度

市町村

交通災害共済

加入受付中

説 駅前(鷹巣)街路拡張 46年度完成を目標に

鷹巣町振興5カ
年計画 概要2

生活環境の整理

住宅

核家族の進行と所得水準の向上に伴って、住宅不足と宅地需要が、量的にも質的にも増大しつつ、町営住宅の建設を促進するとともに、(一億一千五百一十九千九百)土地利用計画に基づく用地の取得造成をおこない、一般住宅の建設を誘導する。

医療保健

医療保健需要も、従来の治療から、予防、保健、リハビリテーションへと増大する傾向にある。今後とも、保健相談、町民皆検診の達成など、日常生活の健康管理の徹底をはかるとともに、健康センター(五百万円)を設置し、保健活動の拡充を図る。

病院の施設充実と医師不足

解消のため、関係機関と連携をとりながら、その定着化につとめるとともに、基幹病院を中核に、各医療機関を有機的に結合した広域医療体制の確立を検討する。

清掃施設

近年、生活様式の変化や環境衛生上から、し尿の公共の処理必要量が增大する傾向

向に伴い、近隣七カ町村による広域処理を実施しているが、今後、更に処理範囲の普及拡大と処理施設の能力アップを図り、処理体制の万全を期す。(六百八十四万九千円)

▽生活様式の変化、生活水準の向上等により、ごみの排出量が年々増加し、内容も多様化しつつある。このため、処理範囲の拡大をはかるとともに、施設の拡充(六百八十九万四千円)とダンブ、トラック、清掃車(四百万円)等機動力の増強を図り、処理体制の万全を期す。また、不燃物の埋立処理については、低地、湿地等を確保し、周辺の環境衛生を配慮して管理する。(二千七百三十五万円)

上水道

▽より安全な豊富な飲料水を住民に供給し、健康的にして文化的な都市建設をめざし、鷹巣地区外五地区(対象人口一万二千人)を給水区域として、水道事業を実施する。(三億五千八百七十六万一千円)

▽上水道の行き届かな、落について、年次計、よ

り、簡易水道を布設し、現在の上水道普及率三〇%を八五%の水準に高める。(三千六百三十万一千円)

都市計画

▽都市計画事業による市街地幹線道路、都市下水路の整備を急ぐとともに、側溝改良による汚水の完全流通を図る。

懸案の鷹巣駅前街路拡張については、昭和四十六年度完成にとり、都市基盤の整備に不可欠なものととして下水道がある。

公共下水道事業に着手するとともに、終末処理場の検討に入る。(二億六千二百二十五万円)

火葬場

▽重油バーナー式の近代化設備を誇る火葬場を、深閑地内に移転新築するとともに、駐車場を設置し、なお、じんあい処理場を含めた周辺一帯の環境美化につとめる。(七百五十五万円)

墓地

▽墓地不足の解決策として、町営墓地の造成を図り、明るく近代的な墓地公園を形成する。(一千五百万円)

消防

▽住民の生命、財産を災害から守る消防については、合川町と広域体制を確立し、その万全につとめているが、今後阿仁部一円との広域化に積極的にとりくむ。最近にみられる危険物取扱施設

の増加、生活様式の変化を反映して、火災発生内容はますます複雑多岐化の傾向にあるので、今後一段と、消防組織の強化、消防施設の充実等による消防力の向上につとめる。

集落移転

▽遠隔な地区に散在し、適正な社会的サービス水準が確保できない小規模集落については、その集落の自主的意向をもとに移転統合がすすめられるよう、集落再編促進条例を制定し、集落の若返りと機能の充実をはかる。

現在、六集落四十五戸について、話し合いをすすめている。(二千七百万円)

交通安全

全県にさきがけて「交通安全都市」を宣言し、交通対策協議会の設置、交通指導隊の結成などを中心に、交通安全の町民運動を展開してきた。

しかし、最近における交通の著しい発達、事故の多発を生じせしめている。今後とも、交通安全思想の普及、教育と安全施設の整備を重点的に安全対策をすすめる。

土地造成

(指導更新八十万円)公共用に供する土地

其の利益のために取得する土地を、農地買上げ地方債等の活用により先行取得し、行政各般の見地から総合的に造成し、土地利用を図る。(八千万円—これは住宅の項と同じ)

町民の声

町政にひとこと

西仲通り 橋本貞雄

四十六歳

大昔この鷹巣は湖底にあった。その面積は大館から米内沢、上小阿仁まで広大な水をたたえていた。七座ときままち阪の間がきれいで阿仁川を呼び、段丘を残して湖底があらわれ、米代川の水となり、流れは変わり、絶えず洪水に曝されていたと考えるのも面白い。或いは、ほんとうだったかもしれない。こうしてみると鷹巣の平地の開けたのはごく最近のことでもある。大所高所から鷹巣を見つめてほしい。

一、堤防に木を植えること。防風と風致、町民の散策道路にする。これは百年の大計であるが、アイデアとして、成人者に植えてもらうとか。とにかく先人がけやきを育てたことを引きつがねばならないうらう。

二、鷹巣(伊熱町)附近の道路を整備すること。幹道がないため、あそこの道は迷路である。附近を流れる排水路もやがて埋設しなければならぬだろうし、計画案だけでも明示しないと、取り返しがつかなくなるだろう。

三、鷹巣は地盤が軟弱であるから、大型自動車の通る道の家は、かなり振動する。風塵だけでなく、振動の面からも広い道路は早急舗装すること。

四、体育館を設けること。計画はあると思うが、単に学校体育のような設備でなく、町民が美容体操など一人でも出来る体力づくりの設備が必要だと思う。町内にはまだ若者がいる。工場など誘致しても、青年のゆき場がなくは困る。ボーリングも町長が音頭をとつてもよい時期)。種々の機械設備によって、種々体力や中年の老化防止に役立つなら、やがて体育の鷹巣としてふさわしい町づくりが出来ると信ずる。

告示前でも不在者 投票の請求ができる

公職選挙の一部改正で

公職選挙法の一部を改正する法律（および公職選挙法施行令の一部を改正する政令）は四十五年十二月二十四日に公示され、四十六年一月二十四日から施行されました。

このうち、「不在者投票制度」の改善が図られたことに伴い、四月に行なわれる統一選挙から行なわれることになりました。

選挙の当日、その属する投票区の区域外において職務または業務に従事中にあるべき選挙人は、当該職務または業務に従事するべき場所がその属する市町村の区域内であっても、不在者投票を行なうことができないものとされたこと。選挙人は、不在者投票のための投票用紙等の請求を行なう場合、不在者投票の事由に該当する旨の証書の提出を要せず、選挙の当日自ら投票所に行き投票することができない事由を申し立て、かつ、それが真正である旨の宣誓書をあわせて提出すること

をもって足りるものとされたこと。

選挙人は、選挙の期日の公示または告示の目前において不在者投票のための投票用紙等の請求を行なうことができるものとされ、市町村の選挙管理委員会は、選挙の期日の公示または告示の前日に不在者投票のための投票用紙等の請求を受けたときは、これを審査し、当該選挙の期日の公示または告示の日以後直ちに投票用紙等を交付すべきものとされた。

この改正は、最近、その属する市町村から遠隔の地に滞在する選挙人（例えば、出かせぎ者）が増加する傾向にある、これらの者は、市町村の選挙のように選挙期日の告示

の日から選挙期日まで「短かい選挙（町長、町議選挙は告示後七日間）」においては不在者投票を行なうことが困難であると考えられることから、選挙人の便宜を考慮して行なわれたものです。

なお、今回の改正による公示または告示前の請求の処理に限らず、一般に、不在者投票に関する事務の処理については適確かつ迅速を旨とし、選挙人の選挙権の行使については選挙管理委員会では遺憾のないよう準備制を備えております。

参考資料（関係分）
▽選挙期日を告示すべき日
○県知事の選挙 3月17日
○県議会の議員選挙 3月30日

○町長および町議会議員補欠選挙 4月18日
▽選挙期日
○県知事および県議会議員の選挙 4月11日
○町長および町議補欠選挙 4月25日

故成田敬治氏に 勲六等

前町議会議長故成田敬治氏に對し、政府では同氏の長年にわたる議会活動の功績を賛え、勲六等単光旭日章を叙し、先月二十五日県正庁で遺族に伝達した。

武田議会議務局長が 全国表彰

全国町村議事連合会は二月四日東京で開かれ、席上優良議会などの表彰があり、本町議会議務局長武田治氏が自治功勞者として表彰されました。

年度末です 「町税の完納を」

四十五年度分の町税納期は、今月末日の固定資産税四期を最後に全部終了します。年度末も近くなりましたので、徴収員が個別に訪問して町税完納をめざして努力しています。納め忘れなどないか、もう一度領収証をよく確かめてください。いつものお頼みですが、町のいろいろの事業は計画的な財政運用によって実施していますので、納期内完納が大

切です。

滞納者には、収納課から納税のことについて連絡していますが、連絡期日に来訪、もしくは連絡がなくなっている現状です。連絡に對しては、なかなかの応答もされず滞納を放置している方には、いかなる徴収緩和の措置も行なえないわけです。町税を年度内に完納して、新しい年度をむかえましょう。

坊川橋も永久橋に



渡りぞめ

町道・七日市・松沢線の坊川橋架替工事は、鷹巣営林署が工事主体となり、昨年九月十七日着工。同年十一月三十日竣工しました。その渡り初め式は一月二十八日現地で関係者を招き、行なわれました。総工費は千六百二十二万九千九百円（うち町負担三百三十九万九千三百二十八円）、橋りょう延長二十五・五米、幅員四・六米。取付け道路百七十四・五米。施工者鷹巣町津谷組（取締役社長・津谷栄七）

広報らん



賢い消費者になろう

26日消費者会議開きます

第五回鷹巣町消費者会議を町および鷹巣町連合婦人会の主催で、二月二十六日(金)午前九時三十分から午後二時まで、役場三階大会議室で行ないます。

この消費者会議は、ここ数年の物価上昇と粗悪品の増加は、消費者をおびやかします。町と地域婦人会、物価調査員、一般消費者、商工業者が三者一体となり、かしこい消費者、信頼

される店”を目標に開かれるものです。
当日は、一般消費者が午前九時三十分から午後二時まで、役場三階大会議室で行ないます。

手をよく洗いましょう

赤痢の発生防止

最近県内に赤痢が流行して、一般の関心をよんでいます。町と地域婦人会、物価調査員、一般消費者、商工業者が三者一体となり、かしこい消費者、信頼

①赤痢は手指に糞便が付着し、それが手指から直接または飲

中小企業者に 年度末融資

3月25日まで受付

秋田県信用保証協会では、中小企業年度末資金特別保証を実施します。

▽保証取扱期間 二月一日から三月二十五日まで

▽保証最高限度 一企業者につき三百万円、一組合(合)合資(資)金)について千百万円

▽保証期間 六ヵ月以内

▽資金の使途 年度末に必要な運転資金

▽返金の使途 一括返済または分括返済

▽保証人および担保 連帯保証人は一人以上、保証(三)万円までは無担保とし(既)保証を含む)三百万円をこえるものについては、必要により担保を徴求することがある。

▽貸付利率 金融機関所定の保証付貸付利率

▽保証料 年一・二七%
▽申し込み場所 金融機関の各店舗、商工会、保証協会支所

町の小中学校の 教育を語る会

27日校長、教頭研修会

教育委員会主催による管内小中学校校長・教頭研修会「鷹巣町の小中学校の教育を語る会」が、二月十七日午

前九時三十分から役場三階大

会議室で開かれます。

この会は、町内の教育について、それぞれの立場から発表し合い、今後の教育について、お互いを助け合い、教育効果をあげようとするものです。

司会者 鷹巣農林高校校長渡辺栄蔵氏

▽教育予算 沢田・義氏▽幼児教育 秩父威仙氏▽高等学 伊藤田安▽種彦学校 丸島 伊藤田安▽PTA 沢田▽公民館 長崎氏 一般 町民 階堂氏

町長面会日に どうぞ来談を

毎月第一・第三火曜日に「町長面会日」を行なっています。面談時間は午前九時から正午までです。

町政に対する意見・要望、苦情・相談など、日ごろ感じていることがらについて、町長が直接お会いして、解決にあたります。お気軽にお出ください。

香典返しにと社福協へ

このほど次の方から香典返しにと町社会福祉協議会へ寄せられました。ご芳志に深く感謝いたします。

○：七日市本郷一組、今林清治郎さんから亡長男・和夫(鷹巣南中学校教諭)さんの香典返し二〇、〇〇〇円

○：西横町、岩川作夫さんから亡母・ハナさんの香典返し二〇、〇〇〇円

コミニティ

あの町内
この地区

新町名、あけぼの町と決定

わたしたちの住んでいる前綱・中綱地区は町名がなく、町内としてのまとまりがないところから、いろいろ不便がありました。去る一月二十五日、新しい町内をつくるため役場に集まり、話し合いをした結果、新しく「あけぼの町」として、この地域を一つの町内会とする、役場の方でもこれを認めました。



依頼で見本送る

来年初めに開かれる冬季オリンピック大会に鷹巣阿仁地方の農家で冬期間の雪中作業に、また雪道づくりに使った「カンジキ」が、大会関係者に使われることになり、NHK秋田放送局が同局鷹巣信通部(豊村政吉部長)を通じて、出川町長に依頼があり、このほど見本を送った。

緑ヶ丘、黒沢小最後のスキー大会

緑ヶ丘小、黒沢小では、四月一日から、西小学校発足と同時に廃校となるので、それぞれ二月十日、学校スキー大会を開きました。両校とも、地元部落で開く学校スキー大会は最後となるので、部落民総出で参加し、親子ともども楽しい一日を過ごしました。

全国表彰をうけた 上舟木道路愛護会

七日市地区上舟木道路愛護会(鈴木重一郎会長)は道路愛護で日本道路協会から全国表彰され、二月八日午前十時半から北秋田建設会館で同協会代理・岡本県土木部長から代表者に伝達された。